

2022年度 SYLLABUS 【博士前期課程】

授業科目名： 公共経済学特論	
担当教員名： 青山直人	
授業科目概要： 気候変動や生物多様性の減少、教育や医療の地域間格差、所得格差などの諸問題に直面している。一方で、政府の財政悪化は深刻な状況である。これらの問題発生の原因と問題への処方箋を経済学的に考えるためには、市場の機能と市場の失敗、政府の役割に関する知識が必要となる。授業では、市場の機能と効率性、効率性と公平性、市場の失敗と補正、政府活動のメリットと限界をテーマに、市場経済における民間部門と公共部門の役割分担について考える。	
履修上の留意事項： 市場による資源配分をベースとして公共部門の役割を考察する。ミクロ経済学の知識が役立つため、学部レベルのミクロ経済学と公共経済学の知識を持っていること、ミクロ経済学特論I・ミクロ経済学特論IIを履修済み（同時履修）であることが望ましい。	
教科書・参考書（参考文献）	
教科書：コア・テキスト 公共経済学 著者／編者：板谷淳一・佐野博之（共著） 出版社：新世社 出版年：2013年	書名： 著者／編者： 出版社： 出版年：
参考書：入門 財政・公共政策 政府の責任と限界 著者／編者：アロエ・L・ヒルマン（著）/ 井堀利宏（監訳） 出版社：勁草書房 出版年：2006年	参考書：スティグリッツ 公共経済学（上） 公共部門・公共支出 著者／編者：J・E・スティグリッツ（著）/ 薮下史郎（訳） 出版社：東洋経済新報社 出版年：2003年
評価方法及び判定基準： 授業内の課題（報告を含む）と期末試験の成績を用いて総合的に評価する。	
授業目標及び進め方： 授業目標 市場の機能と効率性、効率性と公平性、市場の失敗、政府活動のメリットと限界を理解し、市場経済における民間部門と公共部門の役割について考える力を身につけること。 授業の進め方 教科書・参考書の指定箇所の輪読を中心として進める。ただし、必要に応じて講義形式を採用する。受講者には、課題として教科書・参考書の指定箇所を報告してもらう。 授業計画を以下に示す。ただし、受講者の理解度や関心によっては、内容を変更する場合もある。	

第1回 ～ 第2回	テーマ：市場経済における競争均衡 内 容：純粋交換経済、完全競争市場における均衡解 教科書／参考書 板谷・佐野（2013）1章、Hillman(2006) 1.1、Stiglitz（2003）3章
第3回 ～ 第4回	テーマ：パレート効率性と市場経済 内 容：パレート効率的配分と競争均衡、市場経済のメリットと限界 教科書／参考書 板谷・佐野（2013）2章、Hillman(2006) 1.1、Stiglitz（2003）3章と4章
第5回 ～ 第6回	テーマ：社会厚生関数と所得分配 内 容：市場で実現される資源配分、所得再分配の根拠 教科書／参考書 板谷・佐野（2013）3章、Hillman(2006) 5.1、Stiglitz（2003）5章
第7回 ～ 第10回	テーマ：公共財 内 容：公共財とは、公共財の効率的供給、フリーライド問題、私的財の公的供給、投票による供給量の決定 教科書／参考書 板谷・佐野（2013）4章と5章、Hillman(2006) 2.1と3.1、Stiglitz（2003）6章と7章
第11回 ～ 第13回	テーマ：外部性と市場の失敗 内 容：外部性とは、外部性の私的解決策と公的解決策 教科書／参考書 板谷・佐野（2013）7章と8章、Hillman(2006) 4.1と4.2、Stiglitz（2003）9章
第14回 ～ 第15回	テーマ：課税による歪み、政府の失敗 内 容：課税による効率性の損失、政府の失敗 教科書／参考書 板谷・佐野（2013）14章と15章、Hillman(2006)1.1と 2.3、7.1